

第68回 広島県中学校総合体育大会（水泳競技の部）要項

大会コード3419292

- 1 趣 旨 本大会は、中学校生徒にスポーツ活動の機会を与え、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの社会生活に必要な生活態度を身につけ、スポーツを愛好し、体力・気力の充実した発達をめざす中学生の育成に努めるとともに、普及充実をはかるものである。
- 2 主 催 広島県中学校体育連盟 広島県教育委員会 (一財) 広島県水泳連盟
- 3 共 催 広島市教育委員会
- 4 後 援 (公財) 広島県体育協会 広島県公立中学校長会 広島県PTA連合会
(公財) 広島県教育事業団 (公財) 久保スポーツ振興基金
- 5 主 管 広島市中学校体育連盟 広島市水泳連盟
- 6 会 期 2019年8月31日(土)～9月1日(日)
- 7 日 程 31日(土) 開場9:00、開会式10:40、競技開始11:00
競技終了予定18:00
- 8 会 場 1日(日) 開場7:30、競技開始9:00、閉会式予定15:00
ひろしんビッグウェーブ(広島市総合屋内プール) (公認50m)
〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目8番3号 TEL 082-222-1862
- 9 種 目 競技種目 競技順序

	男子	女子
自由形	50m	50m
	100m	100m
	200m	200m
	400m	400m
	1500m	800m
背泳ぎ	100m	100m
	200m	200m
平泳ぎ	100m	100m
	200m	200m
バタフライ	100m	100m
	200m	200m
個人メドレー	200m	200m
	400m	400m
メドレーリレー	200m	200m
郡市対抗メドレーリレー	400m	400m
リレー	200m	200m
郡市対抗リレー	800m	400m

一日目	
200m	リレー
800m	自由形(女)
1500m	自由形(男)
50m	自由形
400m	個人メドレー
200m	背泳ぎ
200m	平泳ぎ
200m	バタフライ
200m	自由形
400m	郡市対抗リレー(女)
800m	郡市対抗リレー(男)
二日目	
200m	メドレーリレー
400m	自由形
200m	個人メドレー
100m	背泳ぎ
100m	平泳ぎ
100m	バタフライ
100m	自由形
400m	郡市対抗メドレーリレー

10 参加資格

- (1) 広島県中学校体育連盟に加盟する生徒で、学校長が参加を認めたもの。
- (2) 引率・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※とする。
(※部活動指導員とは学校教育法施行規則第78条の2に示されている者とする)
外部コーチを1校・1チーム1名おくことができる。外部コーチは、出場校の校長が認めた者とし、所定の「コーチ確認書(校長承認願)」を提出する。ただし、当該校以外の校長・教職員(一貫校および同一敷地内の系列校を除く小・中・高・高等専門学校を除く)は、外部コーチにはなれない。また、同一人が複数校の外部コーチにはなれない。
- (3) 大会引率者の特例
 - ① 広島県中学校体育大会の引率者特例措置規程にもとづき、当該校の校長より申請され、広島県中学校体育連盟会長が認めた保護者または地域のスポーツ指導者。
 - ② 参加を希望する学校は、広島県中学校体育大会の引率者特例措置規程および細則を遵守すること。
 - ③ 所定の様式を、参加申込書とともに各競技の申込先へ提出すること。
 - ④ コーチをつけることは、認められない。
- (4) 参加資格の特例
学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各郡市中学校体

- 育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- (5) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・部活動指導員・外部コーチ・トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処分を受けていないこととする。
- 11 参加制限
- (1) 個人種目では、1郡市1種目2名以内（福山4名以内、広島8名以内）、1名2種目以内で各郡市代表として出場できる。ただし、800m自由形は12:21.0 1500m自由形は22:48.0の制限記録を突破したものに限る。
 ※郡市代表として出場するのは別枠で、各郡市の大会を含む水泳大会（記録会）において、本大会出場の標準記録を突破した者は、申し込むことができるただし、郡市代表枠を含めて1校1種目3名以内、1名2種目以内に限る。
- (2) リレー種目では、1郡市2校以内、（福山4校以内、広島8校以内）メンバー6名で、各郡市代表として出場できる。または、個人種目出場者だけでチームが編成できる学校は申し込むことができる。（リレーの登録は6名まで）ただし、1校1チームとする。
- (3) 400m以上のリレー種目では、1郡市1チーム（福山2ブロック、広島4ブロックに分ける）とし、個人種目出場者だけでチームが編成できる郡市のみ申し込むことができる。（登録は8名まで）
- 12 競技規則
 13 競技方法
- 2019年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則による。
- (1) 競技方法 ①男女別学校対抗とする。
 ②予選はタイムレース、決勝はすべて10名とする。
 ただし、800m自由形と1500m自由形および400m以上のリレー種目はタイム決勝とする。
 ③スタートは、1回とする。
- (2) 優勝校の決定方法
 各種目毎に1位8点、2位7点、・・・、8位1点（ただし、リレー種目は、1位16点、2位14点、・・・、8位2点）とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。
 ①リレーによる得点が多い学校
 ②入賞者数の多い学校（ただし、リレーは4人とする。）
 ③1位の数の多い学校
 ④2位の数の多い学校（8位までこれにならう）
- (3) 表彰規定
 学校対抗 1位に優勝旗、8位までに賞状を贈る。
 個人種目 8位までに賞状を贈る。
 リレー 1位に優勝杯、8位までに賞状を贈る。
- 14 監督・引率
 代表者会議
- (1) プロ会議 7月30日（火）16:00～
 広島市西区地域福祉センター
 〒733-0024 広島市西区福島町二丁目24番1号 TEL082(294)0104
 ※委員長、事務局、広島市委員長、専門委員が出席
- (2) 監督・引率代表者会議
 ①8月31日（土）10:00 会場にて
 ②9月1日（日）8:30 会場にて
 ※監督会議に欠席されると、出場できなくなります。
- (3) 郡市委員長会議
 9月1日（日） 昼休憩 会場にて
- 15 参加申込
- (1) 出場校は、Webエントリーをして、次のものを各郡市内の申込期限を守り各郡市専門委員長へ提出すること。
 ①出場申込書（様式K）
 ②競技会申し込み
 （エントリーTIMEデータ一覧表、リレーデータ一覧表（必要校のみ））
 （Web-SWMSYSよりプリントアウト）
 ③コーチ確認書（コーチが必要な場合のみ）中体連必携参照
 ④大会引率者の特例申請書（大会引率者の特例の場合のみ）中体連必携参照
 ※郡市代表として出場する選手も、標準記録突破による別枠で出場する選手もともに、出場種目欄には必ず予選会記録を記入のこと。
 ※リレー種目のみ出場する選手名も氏名欄に加える。（6名のメンバーすべて）
 ※8月5日（月）から8月6日（水）正午まで広島県中体連水泳専門委員会ホームページ<https://swim34.jp/>に申し込み状況を掲載する予定なので申込一覧表と異なる場合は下記の申込場所へ連絡をすること。なお、掲載期間以外および大会当日の訂正は受け付けないので、各学校は期間内に確認すること。
- (2) 各郡市専門委員長は、次のものを8月1日（木）正午までに下記申込場所へ提出する。
 ①出場申込書（出場校より送付されたもの 様式K）
 ②競技会申し込み
 （エントリーTIMEデータ一覧表、リレーデータ一覧表）

(Web-SWMSYSよりプリントアウト)(出場校より送付されたもの)

- ③コーチ確認書(出場校より送付されたもの)
- ④大会引率者の特例申請書(出場校より送付されたもの)
- ⑤各郡市の予選会記録報告書(様式G、様式H)
- ⑥郡市対抗リレー種目申込書(様式I)

16 参加申込

※各郡市専門委員長は②の種目および記録が、すべて⑤と同じであることをチェックすること。⑤⑥に記載のないものは出場できない。
 ※各郡市委員長は、各郡市内の申込期限を決定し、各校へ連絡すること。
 申込場所 〒733-0822 広島市西区庚午中四丁目12-48
 広島市立庚午中学校 柴野 博嗣 宛 TEL 082-271-0001 FAX 082-271-9944

17 大会負担金

※各学校が直接申込み場所に送付しないこと。
 ※各郡市専門委員長は、各郡市内の申込期限を決定し、各校へ連絡すること。
 (1) 登録選手(生徒のマネージャーは含む)1人につき、900円とする。
 (2) 納入方法
 ア. 参加申込と同時に各郡市中体連に納入すること。
 イ. 納入方法については、各郡市中体連の定めによる。
 ウ. 各郡市中体連はとりまとめて、県中体連が指定する口座に振り込むこと。
 (3) 原則として大会負担金の返金は行わない。但し、大会が全く実施できなかった場合にのみ、必要経費を除いた後に返金する。(全額にならない場合がある)

18 宿泊申込
19 備考

別紙宿泊申込書に記入し、各郡市理事長に申込期日までに申し込むこと。
 (1) 練習会場 8月31日(土) 大会本プール 9:00~10:00
 競技終了後30分間
 飛込プール 9:00~10:00
 開会式終了~競技終了
 9月1日(日) 大会本プール 7:30~8:30
 飛込プール 7:30~8:30
 9:00~競技終了

※受付は各チームの引率者で行い、受付を済ませてから練習を行うこと。

(2) 標準記録(郡市代表による出場とは別枠の本大会出場の標準記録)

種目	男子	女子	
自由形	50m	32.3	34.8
	100m	1:10.5	1:15.7
	200m	2:33.2	2:43.1
	400m	5:25.2	5:41.8
	800m		11:41.0
	1500m	21:26.0	
背泳ぎ	100m	1:16.9	1:22.4
	200m	2:47.0	2:57.1
平泳ぎ	100m	1:26.1	1:33.4
	200m	3:04.3	3:18.6
バタフライ	100m	1:15.1	1:21.7
	200m	2:45.9	2:58.1
個人メドレー	200m	2:50.6	3:02.6
	400m	6:03.2	6:24.3
メドレーリレー	200m	2:22.2	2:34.2
リレー	200m	2:09.2	2:19.2

19 備考

(3) 各1名の競技役員を大会に派遣すること。
 (4) 競技で着用する水着はFINAマークがついているものに限る。

(5) 注意事項

① 一般的注意事項

- 1) 競技場（アリーナ）は、プール1階全域とし、応援、コーチを禁止。
また、宣伝・広告の媒体にならないように注意。（プログラムの「大切なこと
ですから、本覧を読んで必ず守って下さい」参照）
スイミング名の入った水着、ジャージ等も着用しない。（アップの時を含む）
- 2) 試合会場までの往復は、各校の基準服またはユニフォームを着用し、交通ル
ール、マナーに気をつけ、引率者の指示に従うこと。自転車の使用は認めな
い。
- 3) 受付は、各チームの引率者で行い、受付を済ませてからアップを行うこと。
- 4) ジュース類、間食は禁止。（スポーツドリンク等は事前に水筒に入れて来る。
ペットボトルは持ち込まない。ペットボトルクーラーも不可。）
補食は持ち込み可能。（ゴミは持ち帰ること）
- 5) ゲーム、デジタルプレーヤー、携帯電話など不要物は持参しない。
- 6) 大会中プール敷地から無断で出ないこと。
- 7) 中体連の大会は、授業の延長として行動すること。

② 競技上の注意事項

- 1) 決勝進出者は上位9名とする。（スイムオフは、行わない）
- 2) 招集は、競技予定時刻の10分前までに本人が招集場に集合する。招集場所
は、1階プール入口とする。招集に遅れないように注意。
- 3) 競技の進行は、原則として20分以上は繰り上げない。繰り上げる場合は通
告する。（2レース合同で行うことがあるので進行状況に注意）
- 4) スタートの構えはすばやく行うこと。
- 5) 折り返し、ゴールタッチは、確実にこなしてください。
- 6) アップの時を含めて、レーンロープにつかまらない。コードに足をひっかけ
ないように注意すること。
アップ練習でのフィン、パドルの使用を禁止する。
- 7) 記録は2階掲示板に掲示する。（放送による発表は3位まで）
- 8) リレーのオーダーはプログラムの後ろにある参加選手一覧表の番号も記入す
ること。
リレーオーダーの締切は、1日目は10:00、2日目は、8:30とし、
決勝は、予選レース終了までに招集に提出のこと。
- 9) 飛込プールでの練習は、指定されたところのみとする。途中で止まらず、横
方向に泳ぐこと。飛込の板や台に上がらないこと。アップ、ダウンの目的で
使用すること。
- 10) 棄権または訂正がある場合は、プログラム最後の棄権・訂正用紙を監督会議
20分前までに招集に提出すること。
- 11) スタートダッシュについて、開場から30分後から0、1、8、9レーンを
ダッシュレーンとし、スタート側からのみのスタートとする。同レーン折返し
側は引率者がついて引き継ぎ練習ができる。
- 12) 個人情報のうち、大会運営上必要な選手名・学年・所属（競技の特性上必要な
事項）について公開します。尚、報道機関に記録の提供を求められた際には記
録の提供をします。参加校にあってはその旨を承諾のうえ参加申込を行うこと。

20 その他

会期中の悪天候等への対応について

午前6時に気象庁（気象台）より開催地に警報が発表されたときは、大会（競
技）の運営を原則として見合わせる。

- ・ 警報の内容によって開催地には特に影響がないときは、開催地実行委員
会が安全を確認し、競技役員が安全確保（対策）に配慮の上、実施する
ことができる。開催の有無は、午前7時にホームページに掲載する。
- ・ 競技中に警報が発表されたときは、競技の実施を中断するなどの緊急安
全対策を講じる。

注1 選手（団）だけでなく、競技役員・生徒役員等も含めて安全
対策を考える。

注2 状況を常に関係者（引率者）に情報提供を行う。